

原子力・放射線部会 令和5年度（2023年度）全体会議

2023年度の活動計画（案）

2023年6月23日 web開催

2022年度の活動実績と課題

1. Web例会講演会を7回開催。Live視聴者は延べ384人。
2. 講演会見学会開催補助費A予算は、約110 千円を使用。
3. 10/5にWeb見学会を開催。参加者はリアルが7人, Webが66人。
4. 対外活動B予算390千円確保+使用(大学説明, 学会ブース出展)
 - a. 大学説明会は、6校でWeb/リアル開催で実施。
 - b. 原子力学会ブースは2023年3/14-15(東大駒場)にリアル出展。
5. 部会報は、2022年5月に出版。
6. 会計幹事が部会口座をweb化(ゆうちょダイレクト)。
7. 部会C予算は収入301千円(Web例会参加料等), 支出135千円。
8. 部会HP改修に着手(WEB・情報管理班)。

- 【課題】
- I. Web例会講演会は、Web配信のみで開催。
 - II. Web見学会は完遂。収録とWeb配信の関連の課題抽出。
 - III. 大学説明(2022年4月)は、相手側事情でやや低調。
 - IV. 学会ブース出展は盛況。リアル出展の課題抽出。
 - V. 部会C予算は収入が過剰。支出が小。

国のCOVID-19対策の現状

3

内閣官房 新型コロナウイルス感染症対策本部発表

1. マスク着用の考え方の見直し等 (2023年2月10日)
マスク着用は個人の判断に委ねる
(列車・医療施設等の一部を除く)
2. 水際措置の実施方法の変更について (2023年2月27日)
中国の入国者・帰国者のみ入国時検査、出国前検査陰性証明書の提示が必要
3. 今後の水際措置について (2023年4月3日)
令和5年5月8日予定の感染症法上の位置づけの変更
4. 2023年5月8日以降
感染症法上の位置づけが5類感染症に変更

3

新型コロナウイルスへの対応方針について見直し (1/2)

項目	2023年3月13日	2023年5月10日
1. 諸会議 の開催	<ul style="list-style-type: none"> ① ウェブ会議システムの積極的な利用 ② 密にならない配席間隔や換気に留意した上で 対面参加も可 	左記は,原則廃止
2. CPD 講演会	<ul style="list-style-type: none"> ① 会員個人へのウェブ配信や講演内容のウェブ 収録を極力行う ② 対面会場の場合は、密にならないよう配席間 隔や換気に留意した運営 ③ 主催者は、対面参加者に対して体温管理、手 指消毒を推奨 ④ マスク着用は基本的には個人の判断に委ねる 	同上
3. 見学会	<ul style="list-style-type: none"> ① 主催組織は、参加者の移動中及び見学会会場 における感染防止策を講じる ② 見学先が要請する感染防止に関する措置を遵 守することで実施可 	同上
4. 懇親会, 交流会	飲食を伴う場合、体温管理、手指消毒等、適切な 措置を講じた上で実施	同上

新型コロナウイルスへの対応方針について見直し (2/2)

本会としては、2023年3月13日付「新型コロナウイルスへの対応方針」を廃止することしますが、今後の新型コロナウイルス感染症の流行期に備え、日本技術士会が主催する会議や各種行事の開催にあたっては下記の基本的感染対策の考え方を参考に、適切な判断、配慮をお願い致します。

【基本的感染対策の考え方（厚生労働省HPより抜粋）】

1. マスクの着用

- ・ 個人の主体的な選択を尊重し、着用は個人の判断に委ねることを基本
- ・ 流行期に高齢者等重症化リスクの高い方が混雑した場所に行く時はマスク着用が効果的

2. 手洗い等の指衛生、換気

- ・ 一律に求めることはしないが、新型コロナの特徴を踏まえた基本的感染対策で引き続き有効

3. 「三つの密」回避、人と距離確保

- ・ 一律に求めることはしないが、流行期おて高齢者等重症化リスクの方換気悪場所や、不特定多数の人がいるような混雑した場近接会話を避けこと感染防止策で有効（避けられない場合はマスク着用が有効）

アフターコロナ取り組み（案）

1. Teamsを利用したオンライン会議, WEB講演会の活用（利便性継続）
 - ・参加者の負荷軽減
 - ・地域連携の促進
2. 一方でリアル(Live)開催が重要なことも明らか（開拓精神）
 - ・人と出会うことによる自らの可能性の拡大
 - ・Liveで感動することも重要
 - ・魂をぶつけ合い、意気投合することによる信頼の和の拡大



- I. 人と人が触れ合う場を提供
- II. 例会講演会は、ハイブリッド開催へ
- III. Web見学会は、リアル & Web見学会の開催へ

一方で心配な点もある

1. Teamsを利用したハイブリッド例会講演会の開催は、配信技術的に容易ではない。（特に、質疑応答時の双方向性）
2. 2022年度のWeb見学会は完遂したが、非常に大変だった。収穫も多かったが、容易化する方向での課題解決が重要。



- I. 双方向性のあるハイブリッド例会講演会の開催に向けて、用意周到に地道に準備する。
 - 環境の整った会議室の探索と確保
 - 機材とマニュアルの整備
- II. リアル&Web見学会を周到に計画して開催に漕ぎつける。
 - 条件に見合った訪問先の調査と選定
 - 容易化のための配信の取捨選択と合理的方法の探索

本部の対外活動促進費の確保に伴う 大学説明, 学会ブース出展

1. 大学説明は、

- ・ 大学説明は、認知度向上と勧誘活動の原点
- ・ 2023年度は、従来+ α の大学での開催を目指して推進
- ・ 但し、相手（大学側）の意向確認とその高揚が重要

2. 学会ブース出展は、

- ・ 2023年春の学会ブース出展（東大駒場）は、なかなかの盛況。
- ・ 技術士を志す方の来場も、多かった。
- ・ 大型液晶TVの試験的な投入も、一定の効果があったとの感触。
- ・ 一定の費用が必要であり、本部予算の確保が前提。
- ・ 2024年春の原子力学会（近畿大学）でのブース出展を目指す。
- ・ 上記では、タイトルバ^oル、貼付ポスターを改良して臨みたい。

2023年度の基本活動方針（案）

1. Web例会講演会はハイブリッド例会講演会に順次移行
 - a. 環境と機材を用意周到に地道に準備する。
 - b. 当面は情報セキュリティ上、機微なテーマは避ける。
2. Web見学会はリアル & Web見学会に移行
 - a. 条件に見合った訪問先を調査・選定する。
 - b. 容易化のための配信の取捨選択と合理的方法を検討して探索する。
3. 対外説明は、相手側事情に整合して活動
 - a. 大学説明会は、WEB/リアル説明を開催予定。
 - b. 学会ブース出展は、WEB出展で実施予定。
 - c. 組織啓発活動は、相手先状況見合いで実施したい。
4. 部会報の執筆・月刊技術士への投稿
 - a. 部会報は、2023年8月に出版予定
 - b. 個の技術士が月刊技術士を執筆することを推薦して応援
5. 上記の環境整備・開催等に向けた準備や要領は、ハイブリッド役員会（定期は6回/年）で議論する。

行事計画（案）

No	項目	回数	記事
1	新技術士講習会	1回	4月28日に開催
2	全体会議	1回	Web開催（本日）
	特別講演会	1回⇒中止	6月23日は通常の例会講演会
3	技術士の夕べ（例会）	6回	ハイブリッド 例会講演会を開催予定
4	見学会	1回	リアル & WEB見学会を開催予定
5	部会報	1回	体制, 運営方針, 新幹事を紹介

4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 (月)

技術士説明（大学、企業等など：訪問は要検討）

春の学会:WEB出展を計画▲

▲新技術士講習会（4/28）

▲WEB例会講演会①

▲WEB例会講演会②

▲WEB例会講演会③

▲ハイブリッド 例会講演会④

▲リアル&web見学会 ▲ハイブリッド 例会講演会⑤

部会報▲

ハイブリッド 例会講演会⑥ ▲

原子力・放射線部会の活動体制



引用：日本技術士パンフレット

幹事・募集中！！

項目	内容
会員 準会員	日本技術士会に登録した技術士・技術士補
部会員	「原子力・放射線部門」の会員・準会員
幹事	<ul style="list-style-type: none"> ・ 役員会に出席し、議決 ・ 部会運営のための企画立案・検討、情報発信を通じ、部会員、会員の活動を支援
S幹事	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定のミッション・目的のために集結した部会員 <ul style="list-style-type: none"> — 時事、情報収集等 — 本部委員、他学会連絡等 — CPD講座企画、大学説明等 — WG, 座談会等への出席 — 規約整備等 ・ 都内の行事参加は難しいので、地元での行事等に参加

議案2の「2023年度活動計画」(案)の、 ご清聴ありがとうございました

引き続き、以下の行事实績概要をご報告します。

【2022～2023年度 行事实績】 (速報)

- ① WEB・情報管理班によるHP更新が進捗中
- ② 大学説明WGによる大学説明会が進捗中
- ③ 新技術士講習会(2023年4月28日開催済)
- ④ 第85回Web例会講演会(, 2023年4月28日開催済)
- ⑤ 部会報の発行(2023年8月予定)

皆様の質疑応答の後、時間の範囲で「昨年制定の技術士CPD登録新制度とウェブ配信規則の検討状況」をご説明できればと考えています。

①WEB・情報管理班によるHP更新が進捗中

部会HP(トップページ)更新

公益社団法人 日本技術士会
The Institution of Professional Engineers, Japan

文字サイズ 小 中 大 Google

検索

部会ホーム 地域本部・県支部・部会・委員会 日本技術士会トップ RSSについて

原子力・放射線部会

原子力・放射線部会のホーム

- 部会紹介
- 行事案内
- 部会活動状況
- お知らせ
- 会員コーナー
- 資料庫

最新情報 ▶ 一覧

- 講演会・見学会等 実施報告 (2023年度)
- 部会組織
- 令和5年度第1回役員会(0428)資料
- CPD/行事案内
- 講演会配布資料とPe-CPD (2022年度)
- 令和4年度第6回役員会(0210)資料
- 2023年新年の御挨拶

- トピックス (最新情報)
- 部会特別企画
- 福島復興支援
- 技術士を目指す人のために

ヘッダーの代わりに、タグを追加

①WEB・情報管理班によるHP更新が進捗中

講演会・見学会等ページ更新

公益社団法人 日本技術士会
The Institute of Professional Engineers, Japan

文字サイズ 小 中 大

★ 協会ホーム 最新情報

原子力・放射線部会

原子力・放射線部会のホーム > 会員コーナー > 講演会・見学会等

- 部会紹介
- 行事案内
- 部会活動状況
- お知らせ
- 会員コーナー
- 部会規約等
- 全体会議・役員会等
- 講演会・見学会等**
- お知らせ
- 資料庫

講演会・見学会等

[講演会配布資料とPe-CPD \(2022年度\)](#)
講演会配布資料とPe-CPD (2022年度)のご案内です。

[講演会配布資料とPe-CPD \(2021年度\)](#)
講演会配布資料とPe-CPD (2021年度)のご案内です。

[講演会配布資料とPe-CPD \(2005年度～2019年度\)](#)
会員専用にて、昨年度以前の講演会の配布資料とPe-CPDによる講演会の実録(2006年度以降の講師了解のものについての未実施。従って、ご確認できます。

[会員向け検討資料、活動報告他 資料庫](#)
部会員内にて共有する書庫です。過去の検討資料、活動報告の他、現在...
しま...

講演会配布資料とPe-CPD (2005年度～2019年度)

会員専用にて、昨年度以前の技術士の夕べや特別講演会の配布資料と実録(2006年度以降の講師了解のものについての未実施。従って、ご確認できます。

関連ページ

- ▶ 講演会配布資料とPe-CPD (2019年度)
- ▶ 講演会配布資料とPe-CPD (2018年度)
- ▶ 講演会配布資料とPe-CPD (2017年度)
- ▶ 講演会配布資料とPe-CPD (2016年度)
- ▶ 講演会配布資料とPe-CPD (2015年度)
- ▶ 講演会配布資料とPe-CPD (2014年度)
- ▶ 講演会配布資料とPe-CPD (2013年度)
- ▶ 講演会配布資料とPe-CPD (2012年度)
- ▶ 講演会配布資料とPe-CPD (2011年度)
- ▶ 講演会配布資料とPe-CPD (2010年度)
- ▶ 講演会配布資料とPe-CPD (2009年度)
- ▶ 講演会配布資料とPe-CPD (2008年度)
- ▶ 講演会配布資料とPe-CPD (2007年度)
- ▶ 講演会配布資料とPe-CPD (2006年度)
- ▶ 講演会配布資料とPe-CPD (2005年度)

②大学説明WGによる大学説明会が進捗中

大学の4月ガイダンス等の時間をお借りして技術士制度等の説明会を実施した。
なお、東京都市大については11月-12月の実施を依頼されている。

No	日付	対象	部会メンバー	説明方法	参加者
(1)	2023.4.5	福井大	井口S幹事	対面オリエンテーションで説明	学生20名
(2)	2023.4.5	九州大	藤本S幹事	対面オリエンテーションで説明	学生40名
(3)	2023.4.6	京都大	林部会員	対面ガイダンスで説明依頼	—
(4)	2023.4.7	茨城大	芳中S幹事	WEBガイダンスで説明	学生107名、 教員21名
(5)	2023.4.	東工大	横堀部会員	配布で動画視聴を案内	—
(6)	2023.11-12	都市大	山田幹事	対面講義1コマを担当	(計画中)

【今後の展開】

- a) 継続的な実施で、実績のある大学には定着している。新規の大学・高専への拡大については、声掛けを実施していきたい。
- b) なお、オリエンテーションでは時間的な限りがあることから、技術者倫理等の時間を活用した提案も学校側に併せて提案していくことが有効と考えられる。

③ 新技術士講習会（4月28日web開催済）

日時	2023年4月28日（金）15:00～17:30	
場所	オンライン開催（Teams）	
出席者	新技術士	岡本成利氏、神代洋明氏
	研修技術者	参加なし
	部会幹事等	7名
プログラム 司会） 白川 副部会長	<ol style="list-style-type: none"> 1) 合格祝辞と合格者への期待 2) 部会概要紹介(5/21WEB研修会向け収録)→参考1 3) 技術士制度とコンピテンシー 4) 原子力・放射線部会 活動の概要 5) 技術士登録,継続研鑽(CPD登録),APEC/IPEA 国際エンジニア取得方法等 6) 懇談（質疑、合格者および出席者の体験談） 	和田部会長 和田部会長 白柳副部会長 白川副部会長 天田 幹事 全員
記事 新技術士 のコメント等	<ol style="list-style-type: none"> ① 技術士取得を目指した理由及び今後の抱負 ② 継続研鑽（CPD登録）について ③ CPD登録しなかった場合の懲罰の有無 ④ 技術士資格取得によるメリット 	研修技術者 の方々

原子力・放射線部会のご紹介 (概要)

令和5(2023)年4月

原子力・放射線部会
部会長 和田 隆太郎

合格者の皆さんへのメッセージ

合格おめでとうございます。

- ✓ ただ、試験合格は技術士活動の最初の一里塚。
- ✓ 個の技術士の価値は、
 - 技術士CPD(継続研鑽)
 - 技術者倫理
- ✓ タテ社会の中、技術士会はヨコの繋がりの価値もある。
- ✓ 各自、支えてくれた家族と合格の喜びを噛み締めた後、技術士としての自分の存在価値を考え、これから何をやっていくべきかを考えて頂ければ有難いです。

原・放部会の概要と組織

項目		内容	記事
規模	登録者数	約590名	技術士補含む
	会員数	約255名	上記の内数、準会員含む
組織	部会長	和田 隆太郎	専門分野:核燃料サイクル
	部会長補佐	姉川 尚史	専門分野:原子炉の運転と保守
	副部会長	丸下 元治	WEB・情報管理班の担当
		白川 正広	総務・広報班の担当
		白柳 春信	企画班の担当
	役員(幹事)	青山 敬, 天田 佳孝, 岩原 光太郎, 勝田 昌治, 神谷 栄世, 菊池 裕彦, 斎藤 勇, 中野 智仁, 森 孝弘, 山田 基幸の10名	
	S幹事	統括本部委員、大学説明、地域連携、等で21名	
	地域リーダー	鈴木将文(青森)、神谷栄世(福島)、中村晃(福井)の3名	
WGリーダー	常任は、大学説明、組織啓発、地域連携の3名		
同上	単年企画は、WEB見学会構想検討1名＋学会ブース展示1名		

S幹事: 役員の職務を補佐する部会員 ("S" : Special, specific)

4月28日講習会の議事次第と資料

議事

- (1) 合格祝辞と原子力・放射線部会の概要説明(3分)
- (2) 講習会資料の説明
- (3) 懇談(合格者紹介および皆さんの体験談等)

説明資料

資料1: 技術士制度とコンピテンシー

資料2: 日本技術士会 原子力・放射線部会 活動の概要

資料3: 技術士登録、技術士CPD、APEC・IPEA国際エンジニア取得方法



部会HP > 部会活動状況 > 講演会・見学会等 実施報告(2022年度)

https://www.engineer.or.jp/c_dpt/nucrad/topics/008/008603.html

原・放部会の活動概要(1/2)

1. 例会講演会(6回/年)の開催 :CPD行事
2. 部会報と、技術報告集の発刊
3. 見学会(1~2回/年) :CPD行事
4. WEB見学会の構想検討・創造
5. 上記を踏まえた地域会員との連携



【2022年度のWEB例会講演会のテーマ】:7回

開催日	題目	講師
4月28日(木)	ハイパーカミオカンデで探る素粒子と宇宙	平出 克樹氏
6月17日(金)	福島第一原発のALPS処理水の海洋放出に関する計画について	松本 純一氏
8月26日(金)	福島第一原発周辺の放射能について-事故後の放射能の推移-	鳥居 建男氏
10月21日(水)	WEB見学会 ~檜葉遠隔技術開発センター(NARREC)見学会~	原子力機構
10月21日(金)	商業炉の解体廃棄物の処理処分の進捗状況について	平井 輝幸氏
12月16日(金)	福島第一原子力発電所 廃炉研究開発の現状	奥住 直明氏
2月10日(金)	原子力はどこへ向かうのか ~時代の転換期の中で考える~	滝 順一氏

原・放部会の活動概要(2/2)

1. 大学への技術士制度の説明会
2. 原子力学会(春の大会)への展示ブース開設
3. 企業等の組織啓発活動(アフターコロナ再開予定)

【過去に説明会を実施した大学】: 13大学

(過去の開催順)

茨城大学、近畿大学、東北大学、九州大学、
東京都市大学、東京工業大学、京都大学、名古屋大学
福井大学、長岡科学技術大学、福井工業大学
東海大学、首都大学東京

技術士会に入会し、
幹事（S幹事）になり、
一緒に技術士の活動をしましょう

ご清聴ありがとうございました

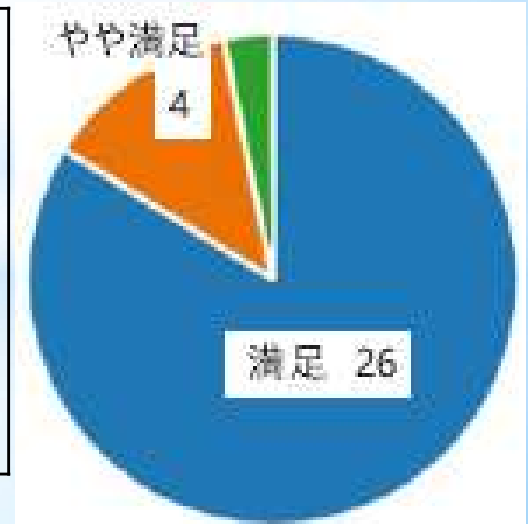
原子力・放射線部会長 和田 隆太郎

④第85回web例会講演会（4/28開催済）

1) 4月28日 Web例会講演会（第85回 技術士のタベ）

題目	RI製造研究の現状と将来展望「-RIによるがん治療法開発を中心に-」
講師	篠原 厚氏（大阪青山大学 学長、大阪大学 招へい教授）
参加数	46名（内、原・放部会員 20名）
講演概要	最近特に注目されている医療分野におけるRI利用の研究開発を中心に概観する。α線核医学治療法開発の進捗状況、RI製造供給、RI関連の最近の基礎研究などを大阪大学の例を中心に紹介する。我が国の放射線・RIの利用環境、管理体制、さらにRI製造供給の現状と課題を考える。

アンケートご意見 (主なもの)	<ul style="list-style-type: none"> ①この分野で日本の置かれている現状が理解出来た。 ②内容が非常に濃く、説明も分かり易くて大満足。 ③少し専門的過ぎた。なお、課題は理解できました。 ④専門外のため、かなり難しい内容でした。 ⑤医療用RIの供給問題の知見が得られて有意義。 ⑥α線核医学療法について纏めてお聞きすることができて、勉強になりました。
--------------------	--



全回答数：31

⑤部会報の発行(2023年8月)

1. 部会長挨拶	部会方針、取組み概要、注力ポイント
2. 2022年度活動報告	活動全般,合格者歓迎会,部会会合の回数,講演会
3. 2023年度活動計画	本OHP内容の報告文章版
4. 新幹事の自己紹介	顔写真、略歴(所属、技術士合格年度等)、抱負等
5. 2023年度全体会議	議事次第と会議資料HPリンク、議事録、トピック
6. 活動トピック	① Web化の推進 ② 2022年度Web見学会報告 ③ 2023年春の学会ブース出展報告 ④ 技術士会からの表彰者のコメント
7. 部会情報	① 会員数(増減) ② 新規入会人数(公表して良ければ名前も) ③ 新規合格者自己紹介(抱負など)